



”すべての消費者に安全な食品を” ～規格認証に対するGFSIの取り組み～

2021年11月18日

The Consumer Goods Forum, Japan

GFSI担当

大久保 力

GFSI: グローバル・フード・セーフティ・イニシアチブ



創設の経緯:

食品安全を脅かす事故、リコールの多発

原料の調達・加工・生産のグローバル化

監査の重複によるコスト増と現場の疲弊

食品安全規格の多様化
(世界に400以上)

食品安全のグローバル規格の必要性和連携したアクションの必要性を経営者達が合意

2000年5月 GFSI発足

CGFの1部門として活動開始

GFSI承認の食品安全規格を認証取得している事業所数は世界で132,966サイト ※2019年データ

ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム (CGF) とは？



- ・2009年に、食品製造業 (CIES) と小売業 (GCI) の国際団体が合併して設立されました。
- ・世界中の消費財の**リテラーとメーカーを結集する唯一の国際的な消費財業界団体**で、世界の消費財企業とサービスプロバイダーを中心に、約400社 (70カ国以上) が加盟しています。
- ・CGF会員企業の総売上高は3.5兆ユーロ、直接雇用者は約1,000万人です。
- ・非競争分野における4つのピラー (社会的・環境的Sustainability, 食品安全, ヘルス & ウェルネス, End to End Value Chain) の下に、8つの行動連合、1,500人を超える専門家、30以上のグローバルと地域のワーキンググループと専門プロジェクトで組織構成し、社会的・環境的課題に取り組んでいます。
- ・毎年30以上のイベント (Workshop, Study Tour, Summit) を開催しています。
- ・56名のCEOからなる理事会が運営しており、日本からも5社が理事メンバーとなっています。
- ・日本からは、小売企業、食品メーカー、消費財メーカーを中心に64社が加盟しています。

• 理事会を代表する56のCEO





CGFの戦略的組織と活動

我々CGFでは、8つの**行動連合**を編成し、非競争分野における戦略的課題に取り組んでいます。



SSCI: Sustainable Supply Chain Initiative, GFSI: Global Food Safety Initiative, CHL: Collaboration for Healthier Lives

GFSIのビジョン

Safe food for consumers everywhere

すべての消費者に安全な食品を提供する:

GFSIのミッション

世界中の消費者へ安全な食品を確実に届けるために、食品安全マネジメントシステムの継続的改善を行う。



GFSIのステークホルダー



GFSIの戦略



- 定期的に更新されるベンチマーキング要求事項と照らし合わせて評価することにより、世界中の食品安全認証プログラムの規格を調和させ、向上させる。



- グローバル・マーケット・プログラムとGFSI ローカルグループの活動を通じて、業界とサプライヤーのために食品安全能力を構築する。



- 共同プログラムへの対話および参加を通じて、政府の食品安全規制当局と民間パートナーを連携させる。

業界が共有するベネフィット

監査の減少

継続的な改善

取引機会の拡大

消費者の信頼感の向上

費用効率の向上

GFSIの戦略



Once Certified, recognized Everywhere

いったん認証されれば、どこでも受け入れられる

“GFSI Benchmarking Requirements” への適合度を確認し承認を与えることで実現を図る。



【GFSIが承認した認証プログラムオーナー（CPO）一覧】



GFSIの戦略

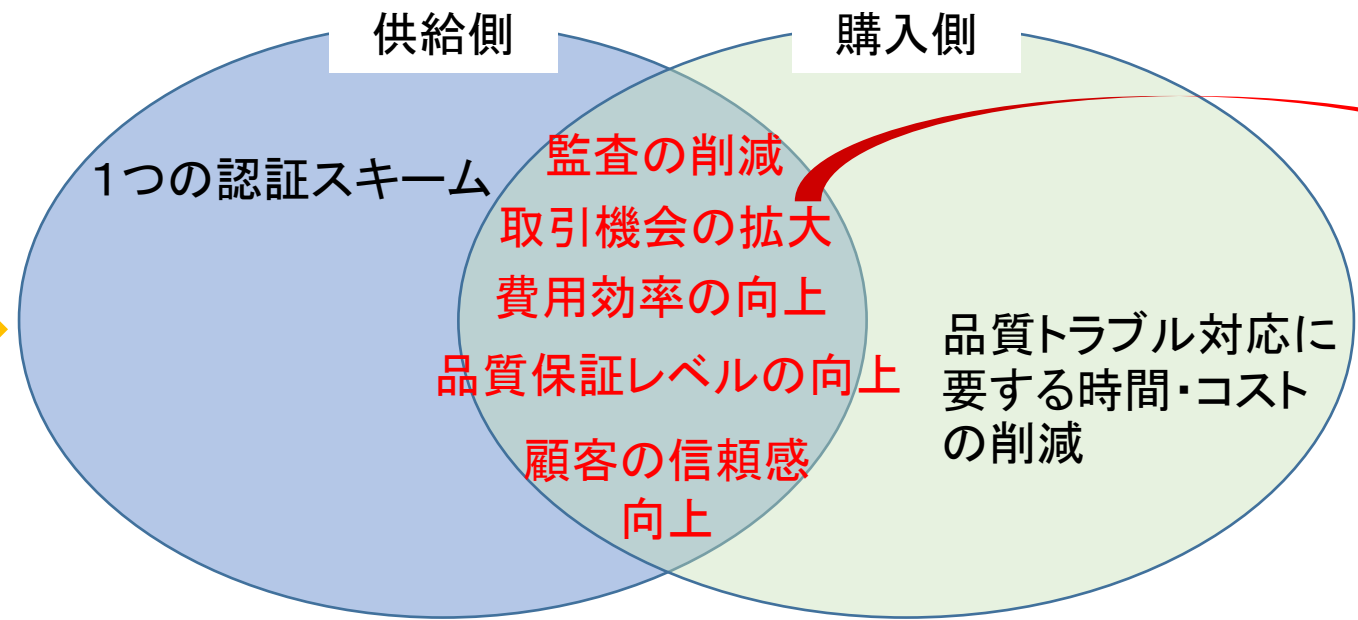


Once Certified, recognized Everywhere
いったん認証されれば、どこでも受け入れられる

“GFSI **Benchmarking Requirements**” への適合
度を確認し承認を与えることで実現を図る。

20の業態・加工形態ごとに整備。保管・配送・卸・小売向けもあり。

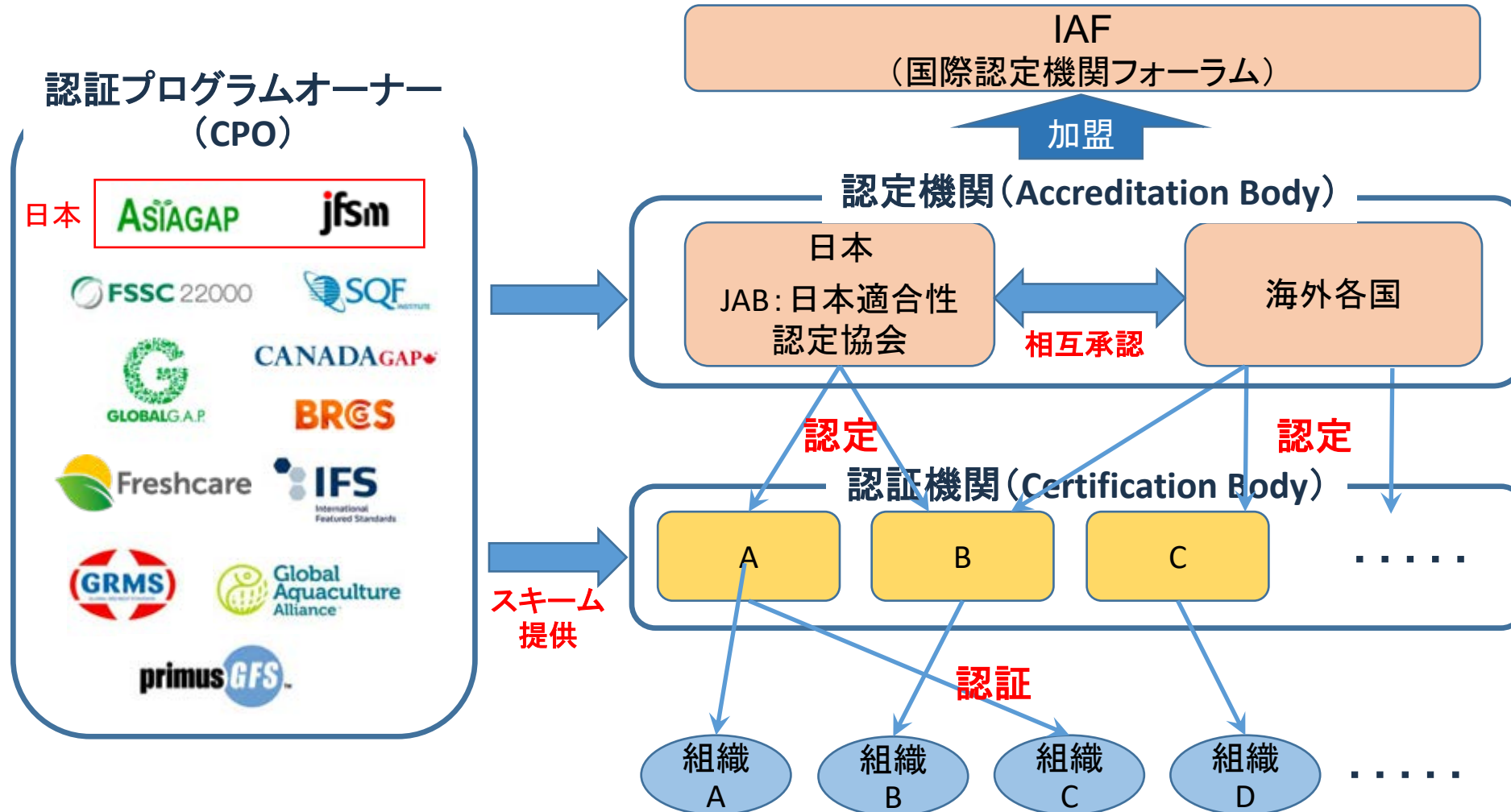
効果



特に輸出においてGFSI承認規格の取得が有利に働く。
+ 政府の食品輸出強化策

GFSIの戦略

(参考) 食品安全規格認証の仕組み



認定とは:
マネジメントシステムの認証 (審査登録) 等を行う機関の活動が国際的な基準に従い、公平・透明に行われているかどうかを審査し公式に認め、登録すること。認定審査では認証機関に対する要求事項を定めた国際規格(ISO/IEC規格又はガイドなど)を使用して認定審査を行う。

GFSIの戦略 “GFSI Benchmarking Requirements”

- Desktop Review
- Office Visit
- Corrective Action Plan
- Public Stakeholder Consultation
- Implementation of Corrective Actions
- GFSI Board Final Decision and Communication
- Annual Monitoring of Continued Alignment

GFSI BENCHMARKING REQUIREMENTS
VERSION 2020

PART I THE GFSI BENCHMARKING PROCESS

GFSI BENCHMARKING REQUIREMENTS
VERSION 2020.1

PART II REQUIREMENTS FOR THE MANAGEMENT OF CERTIFICATION PROGRAMMES

- Ownership, Development and Maintenance
- Accreditation
- Relationship with Certification Bodies
- Certification Bodies Personnel
- Management of Audit and Certification
- Multi-site Certification

GFSI BENCHMARKING REQUIREMENTS VERSION 2020

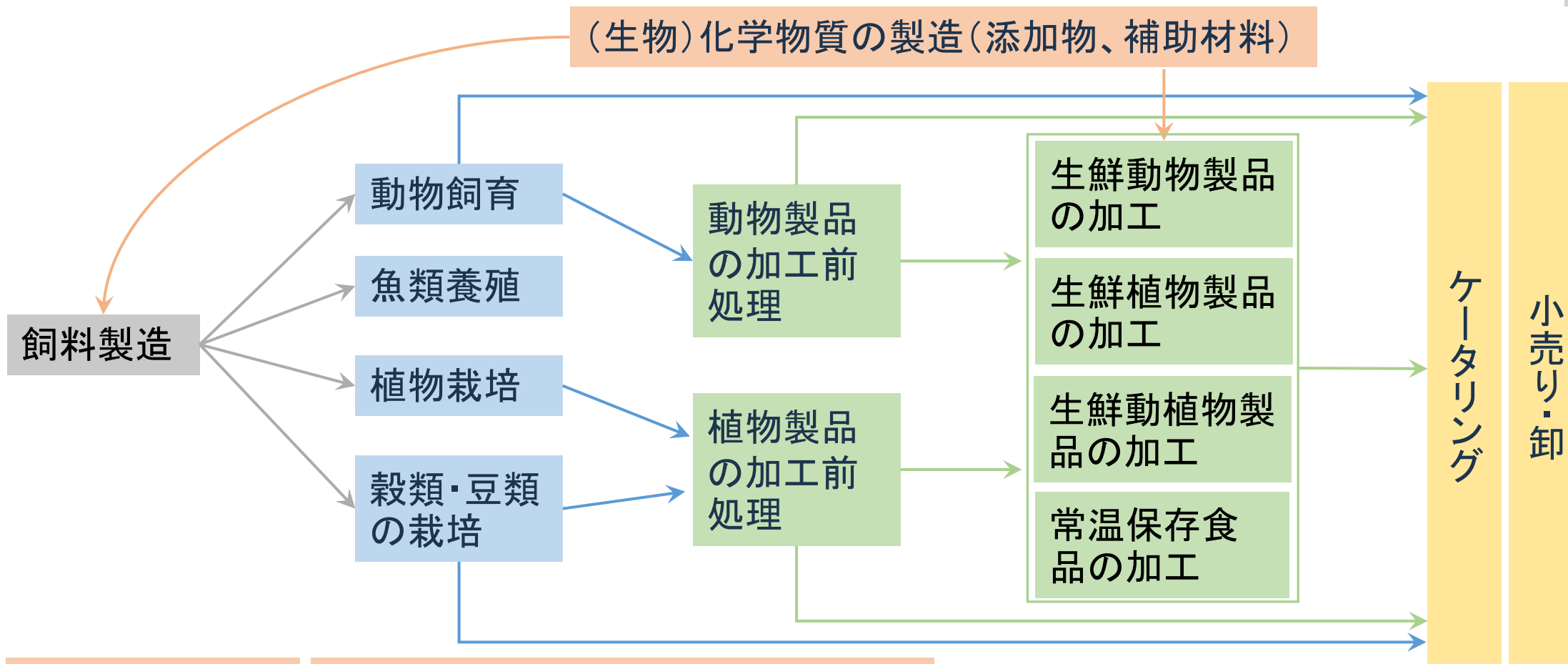
PART III REQUIREMENTS FOR THE CONTENT OF STANDARDS

*CIV Processing of Ambient
Stable Animal and Plant
Products (mixed products)*

- Hazard and Risk Management Systems
- Food Safety Management Systems
- Good Industry Practices

GFSIの戦略

“GFSI Benchmarking Requirements”



保管・配送	食品ブローカー・エージェント
容器・包装	建物・設備の衛生的設計(施工者向け)
食品安全サービス	建物・設備の衛生的設計(ユーザー向け)

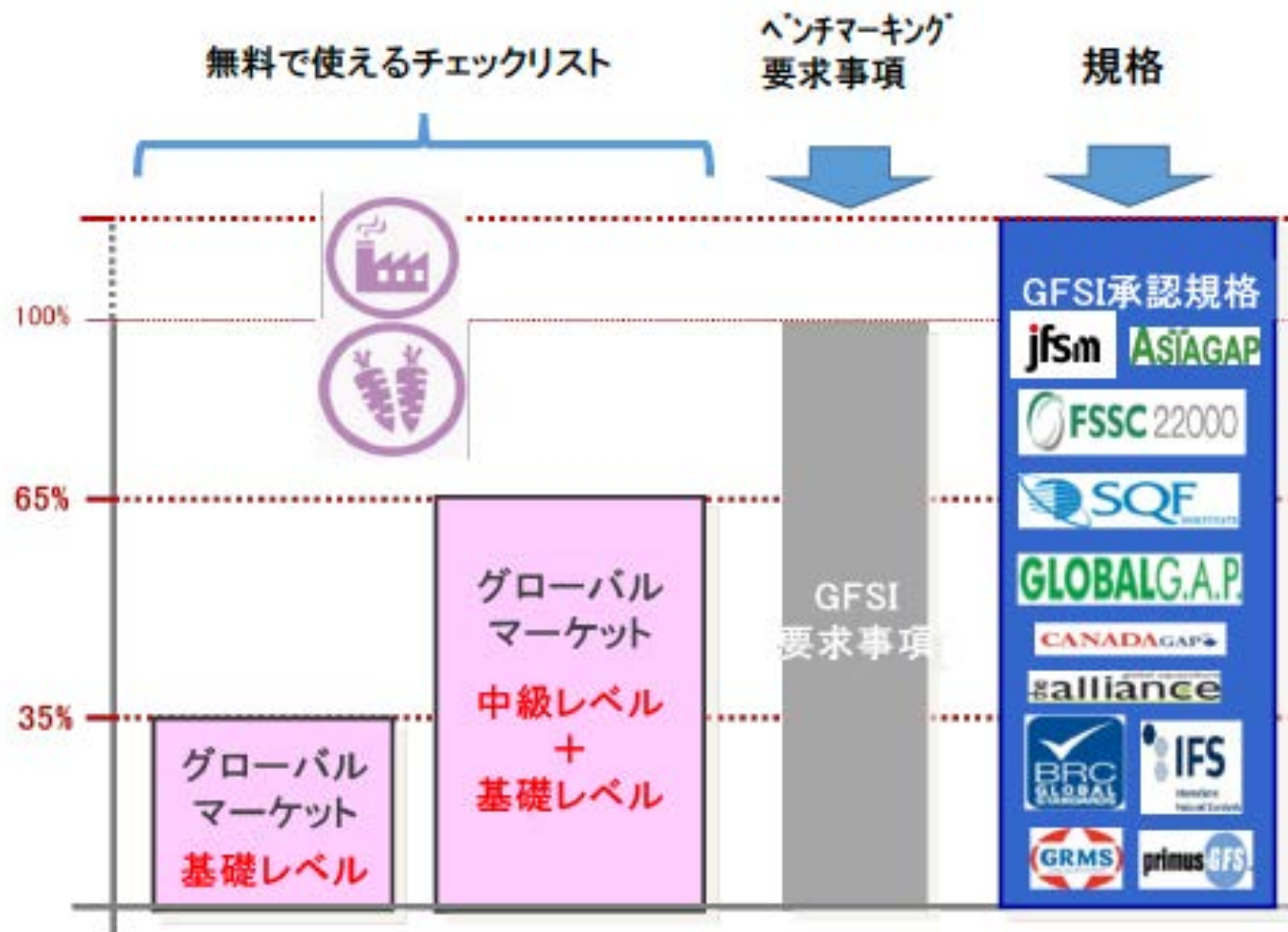
GFSIの戦略



キャパシ
ティビル
ディング

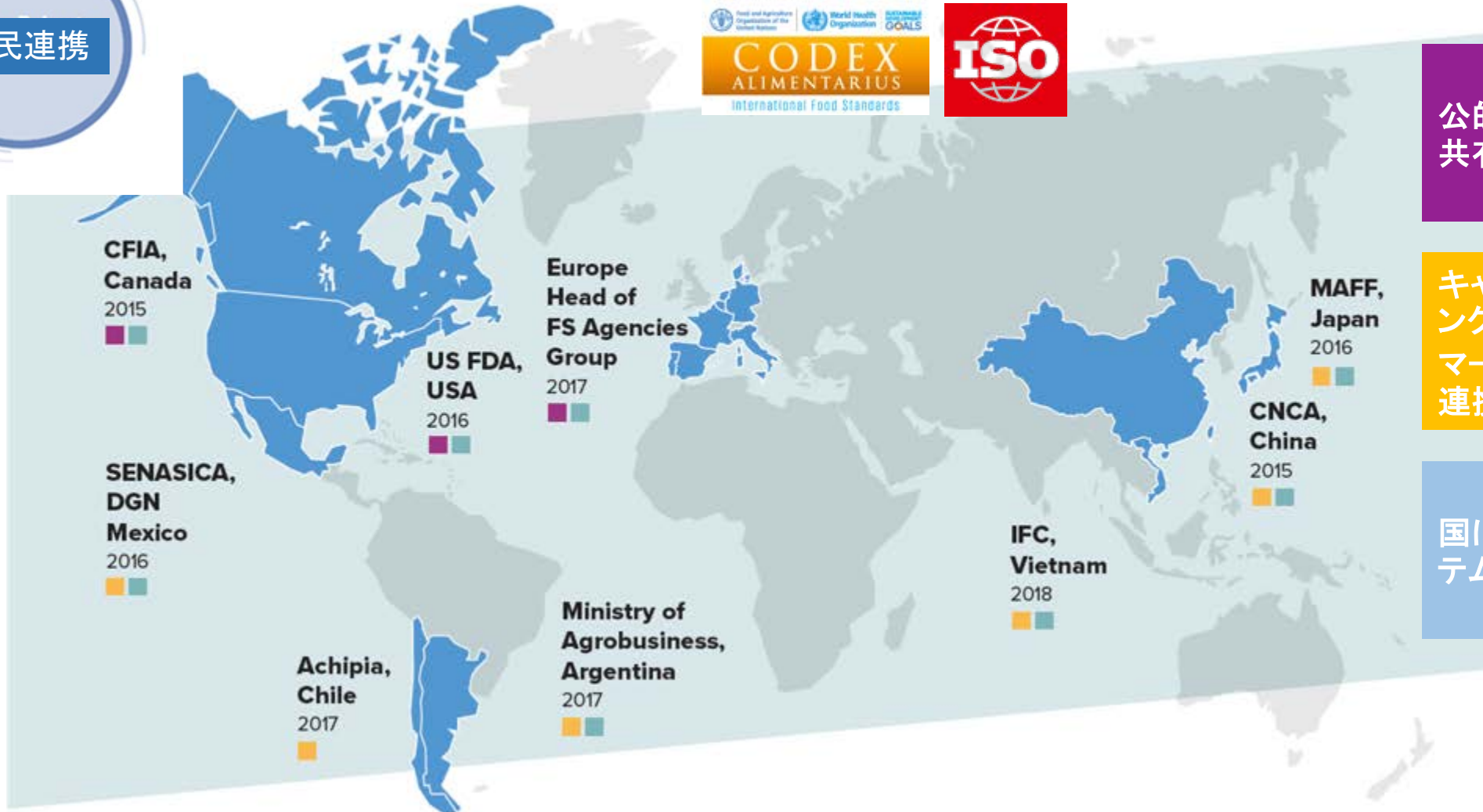
グローバルマーケットプログラム (GMaP)

- ・ 段階的にGFSI承認食品安全規格の取得を目指すプログラム
- ・ 一次生産と小規模食品製造者あるいはこれから発展する企業が対象
- ・ 食品安全マネジメントシステム構築のための自主的なツール
- ・ より安全な食品の製造と市場獲得に向けたロードマップ



GFSIの戦略

官民連携



公的機関とのデータの共有または調整

キャパシティービルディング: GFSIのグローバルマーケットプログラムと連携

国による食品安全システムの調和と近代化

日本におけるGFSIの歩み



2012

2018

2021

日本ローカル
グループ設立

主な取り組み

- ・ガイダンス文書、GMaPに対する理解度の向上
- ・GFSI, GMaP, **GFSI承認規格**に対する認知度の向上
- ・行政とのネットワーク構築、連携
- ・GFSI本部(グローバル)との連携

日本発の規格
JFS-C,
ASIAGAPが
GFSI承認を取得

世界食品安全会議
の東京開催

GFSI承認規格取得数

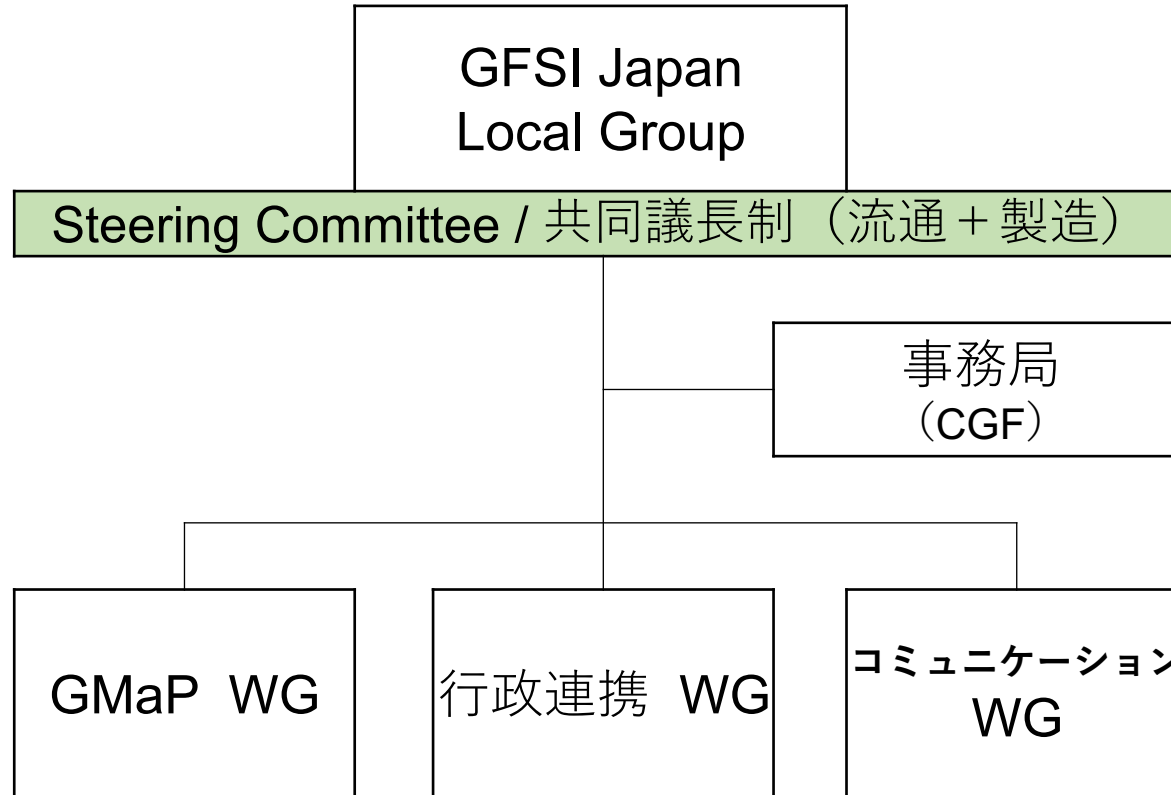
3,000以上の食品工場
1,100以上の農場(組織単位)

次のステージへ

Safe food for consumers everywhere

すべての消費者に安全な食品を提供する:

GFSI日本ローカルグループ (LG)



10社

- ・GMaPの普及
- ・関連規格の研究
- ・他のWGへの技術的支援

11社

- ・関連省庁、地方行政との連携強化
- ・GFSI承認規格の普及による輸出支援

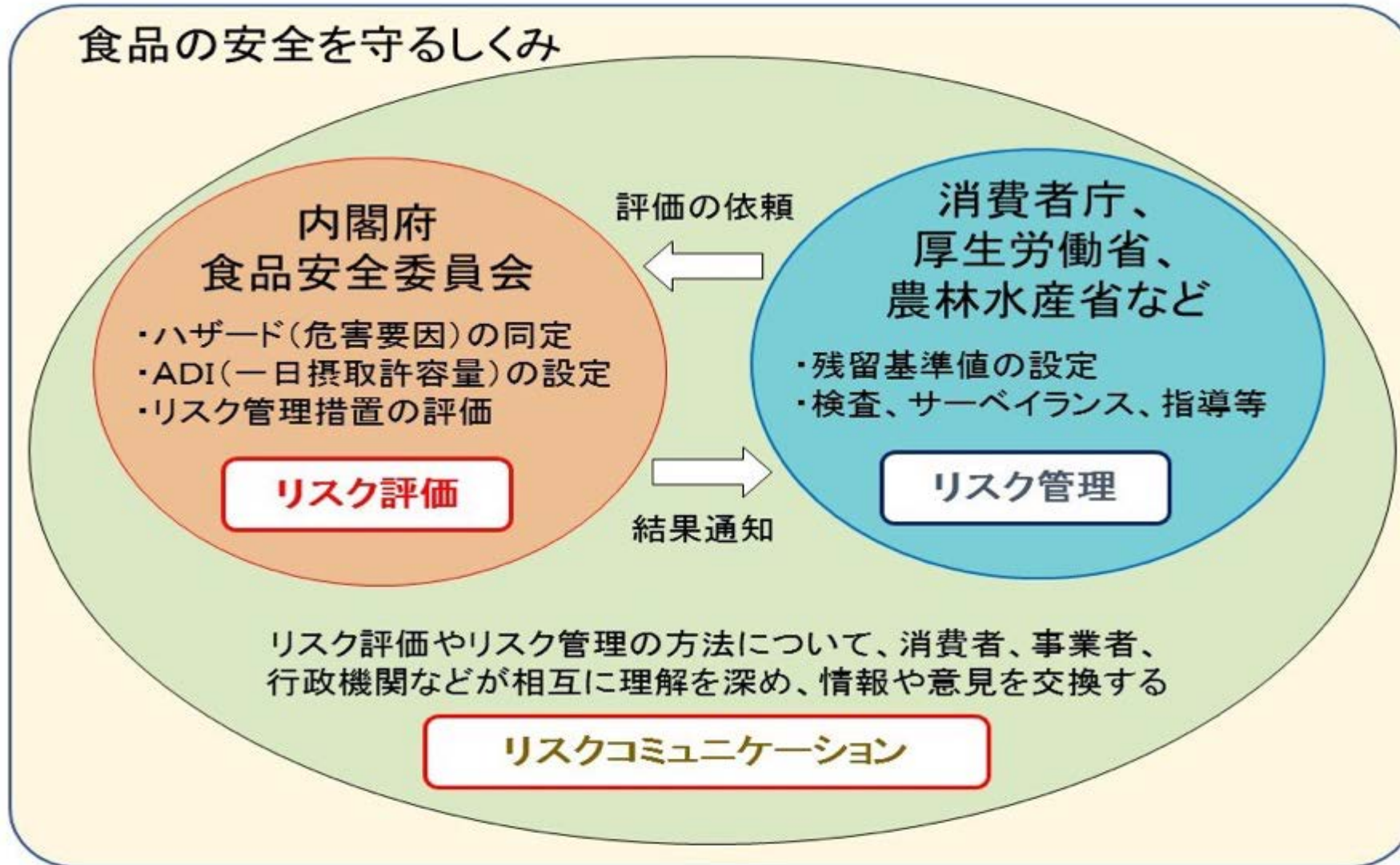
9社

- ・国内ステークホルダーへのGFSIの啓発
- ・GFSIホームページへの活動状況の掲載
- ・セミナーの開催

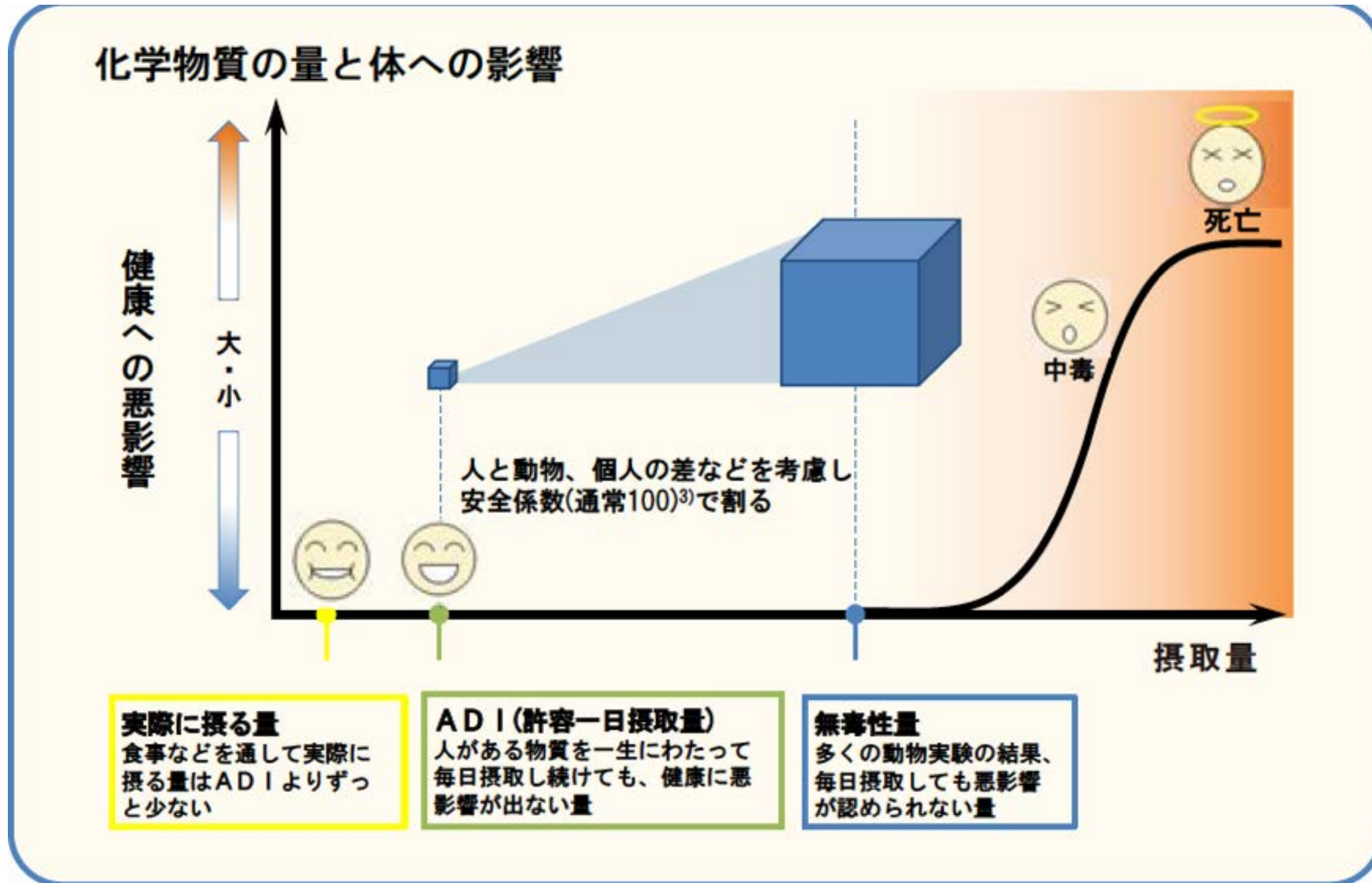
- ・LGの意思決定機関であり、27社(2021.7現在)で構成
- ・共同議長はイオン・キリン(2021.7現在)
- ・日本LG及び各WGの活動方針・計画・実績の承認を行う

- ・WG毎に1回/月～数ヶ月程度の活動(打合せ)を実施。
- ・各WGのリーダーはステコミ・総会において、活動計画・実績を報告し、承認を受ける。

食品の安全性について知っておきたいこと



食品の安全性について知っておきたいこと



出典: 食品安全委員会「科学の目で見える食品安全」

